
Q&A

Q1. 燃料費調整額とは何ですか？

A1. 燃料費調整額とは発電に必要なコストを電気料金に反映する制度となります。燃料価格（原油・LNG・石炭）は毎月変動しており、電力会社のエリア毎に金額が決めます。燃料価格が高い時は燃料費調整額も上がり、反対に安い時は下がる仕組みとなっています。

Q2. 上限価格とは何ですか？

A2. 上限価格とは発電に必要な燃料の価格が大幅に上昇した際の大きな影響を和らげるため、燃料費調整額の算定に用いる燃料価格の上限をあらかじめ設定しておく仕組みのことで、

Q3. 私は再生可能エネルギー100%メニューを利用しているのですが、燃料費調整額とは関連はありますか？

A3. 燃料費調整額に反映する化石燃料価格が高騰する中、日本全体の7～8割が化石燃料による火力発電であることから、原油・LNG・石炭を使用していない再生可能エネルギー100%メニューの価格にも影響が出ています。

Q4. 今回のお知らせにある「燃料費調整額に係る上限価格」を撤廃するとどのような影響があるのでしょうか？

A4. 東京電力エリアの燃料費調整額は8月時点で4.85円となります。現在は上限価格の5.13円を下回っておりますが、急激な燃料費の更なる高騰がづくことが予測されています。上限価格の撤廃を行ったのちは燃料費調整額を上限なしでご契約者様に負担いただくため、上限価格を定めている他の電力会社との比較では電気料金が月によって高くなる場合があります。

Q5. 「コープデリでんきにすると安くなります」とおすすりめされましたがなぜ、コープデリでんきの方が高くなるのですか？

A5. コープデリでんき」は燃料費調整額の上限を5.13円と定めておりました。これまでは燃料費調整額が上限価格の5.13円まで契約者にお支払いいただくとしておりましたが、上限価格を撤廃することで5.13円を超えた際も上限がなく、お支払いいただくこととなります。そのため、燃料費調整額に係る上限価格を設けている電力会社との比較では上限価格を上回る場合に燃料費調整額において価格差が生じ高くなります。また、燃料費調整額が5.13円を下回った場合には「コープデリでんき」の価格メリットが生じます。

Q6. 具体的にはいくら高くなるのでしょうか？

A6. 2021年度の平均使用量で算出した金額になりますが、東京電力従量電灯 BC と比較して電力使用量が増える冬季（11月～2月）においてベーシックメニューは約100～400円/月、再生可能エネルギー100%メニューは約500円～1,200円/月が高くなる可能性があります。なお、燃料費調整単価は現時点での予測値となります。ご契約のアンペア、電気使用量により異なります。

Q7. 燃料費調整額の上限を撤廃しないとどうなるのでしょうか？

A7. 燃料費調整額の上限を超えた金額については電気事業者が負担することとなり、大幅に収益が悪化します。今後もコープデリでんきを安定的に電力供給するためにもご理解ください。

Q8. 東京電力エナジーパートナーも上限を撤廃する予定はありますか？

A8. 東京電力エナジーパートナー、また他社でも上限を定めている電力会社がありますが今後の予定はわかりません。

Q9. 各電力会社における「燃料費調整額」の上限の有無はわかるのでしょうか？

A9. 各電力会社へのお問い合わせ、またはホームページをご参照いただくことで確認が可能です。

Q10. 他社への切り替えにて解約金や違約金はありますか？

A10. コープデリでんきから他社への切り替えに伴う解約金や違約金の発生はありません。

Q11. 他社に変更したいのですが、どこかお勧めの電力会社はありますか？また手続きはどのようにしたら良いのでしょうか？

A11. 昨今の燃料費の高騰により基本料金や燃料費調整額の上限の有無など、他の電力会社でも変更がされるケースも想定されますため、我々からのご案内はできない状況です。変更の手続きにつきましては東京電力エナジーパートナー従量電灯 BC に戻られる場合にはコープデリでんき・ガスコールセンターにご連絡いただき、解約手続きをお願いしております。その他の電力会社でしたら利用申込みののち、コープデリでんきは自動解約となるため解約手続きは不要です。

Q12. コープデリガスも料金体系の変更がされるのでしょうか？ガス料金は他社と比較して高くなるのでしょうか？

A12. 「コープデリでんき」の燃料費調整額にあたる「コープデリガス」の原料費調整額の上限価格は、ガス個別約款において供給開始当初より設定がされておらず、世界的な燃料費の高騰により、他社と同様に原料費調整額も上昇が続いております。このような情勢を受けて、東京ガスは7月21日に10月検針分から原料費調整額の上限価格を段階的に引き上げることで変更したため、今後、これまでと同様に「コープデリガス」の価格メリットが生じると想定しております。なお、東京ガス以外の他社で原料費調整額の上限を設定している他社プランもありますので、料金体系のご確認をお願いいたします。また、情勢も不透明な状況となりますので、あくまでも予測となることをご了承ください。